

【 議事録 】

会議名	学校評議員会（会議室）
日時	平成27年3月12日（木） 16時00分 ～ 17時00分
<p>協議内容等</p> <p>1 学校長あいさつ</p> <p>2 学校評議員会委員の紹介 瀬部洋子評議員，岡本武由評議員，新居啓司評議員，柴田校長，永濱教頭，名山教頭 羽山事務室長，佐々木指導教諭，宮本教諭，小原教諭，徳永教諭 計11名出席 ※ 欠席の加集評議員からは書面で意見を頂きます。</p> <p>3 議事（以下，敬称略）</p> <p>（1）平成26年度 学校評価について 学校から4つの重点課題における評価指標と実施状況について説明し，それぞれの項目について評議員から意見・質問を頂きました。（A4・A3の会議資料参考）</p> <p>① 人権教育の推進について</p> <p>永 濱） 研修会として，前期は就学・生活支援センターの佐野和明さん，株式会社森乃葉代表と発達障がい当事者の方を講師に「発達障がいのある人の卒業後の暮らしと支援について」，また後期は指定障がい福祉サービス「なごみ」の林弥生さんと，達障がい当事者の方3名を講師に「発達障がいのある人の卒業後の生活支援」について，関係機関の方と企業の方，就労している当事者の方の生の声を聞くことができました。</p> <p>柴 田） 本校で実施している保護者・教職員等対象の人権研修に，ゾーンの方々もご参加いただくことが可能であれば，ぜひお越しいただけたらと思います。いかがでしょうか。</p>	

永 濱) これからはご案内をさせていただきます。ご都合が許せば、ぜひご参加いただきたいです。

瀬 部) 今年は小松島市の人権研修会の企業の部で2月に発表させてもらいました。ゾーンとしての特色を出すためにも、連携を密にして取組をアピールできたらと思います。

柴 田) ゾーンとしての取組については、教育委員会などでもよく質問されたりします。ところで職員の皆様に対してどのような人権研修をされていますか。

新 居) ハンセン病の講演をされている十川勝幸さんの話はいいですね。特に劇がわかりやすいようです。

岡 本) 堀内圭さんのコンサートがいいですね。特にトークが良いです。機会があればみなと高等学園にも呼んでいただけたらと思います。

また「さん付け呼名」が定着しているのはとてもすばらしいと思います。生徒さんと接していてとてもいい印象があります。ぜひ続けてほしいと思っています。

② 個別の指導計画の効果的な活用について

永 濱) 個々の事例に合わせてケース会を持ちながら指導しています。進路に関する学習が商業・情報部の方では少ないということで、本年度は30時間以上となるように補強して実施しました。

瀬 部) 発達障がいの方の個別の支援計画については、地域の中ではまだまだ定着していないように感じます。各市町村により理解に温度差があるようにも思われます。

佐々木) 支援学校では個別の教育支援計画と個別の指導計画を両輪に生徒の指導にあたっています。教育支援計画は主に学校を卒業した後の道筋を記すものであり、指導計画は在学中の教育活動全般に関するものです。地域によって支援体制にばらつきがあることはやはり課題ではありますが、卒業後のアフターケアは労働や福祉の関係機関と連携をとりつつ進めていく予定です。

③ 職業教育の充実について

永 濱) 1年生は進路説明会で保護者に卒業までの流れを話し、2年生はすべての生徒に拡大進路相談を行いました。3年生は繰り返し実習に取り組み、保護者面談をとおして家庭との連携をとりながらとにかく就労をめざしました。また、ジョブサポーターの方は200件以上の企業訪問を行い、職場開拓に務めています。おかげさまで26名全員が無事に進路先を決定することができました。内訳は23名が企業等での就労、3名が就労移行支援施設に籍を置き、就労を目指します。23名のうち1名は自衛官に合格しました。

新 居) 100%の進路決定おめでとうございます。皆さん正規採用ですか。

佐々木) それぞれに雇用の形態が異なるのですが、全員正規採用となります。

岡 本) 採用する側にとって、障がい者雇用を進めるにあたって、仕事内容等が分かりにくい場合がある。現場実習を積み重ねることにより、仕事内容等の洗い出しが可能となるので、現場実習は非常に重要である。学校からも採用側に積極的に職種や生徒の特性等を提案することにより、最適な進路先の確保に繋がるのではないかと感じる。

④ センターの機能の充実

永 濱) ハナミズキゾーン連携会議をはじめ、防災訓練などでもご協力をいただきありがとうございます。また、地域の学校からの要請を受け、年間をとおして相談活動や研修会の支援を行っています。

瀬 部) 連携会議をより一層充実させることで、連携を強化できればと思います。

新 居) 入試の状況はいかがですか。

名 山) 商業・情報部には定員16名のところ13名の応募がありました。生産・流通部には同じく定員16名のところ28名の応募がありました。商業・情報部は2次募集します。

瀬 部) 発達障がいの方は数の上では増えたと言われてはいますが、実際は高等学校に進学されているのですね。

柴 田) 基本的に、特別支援学校より通常の高等学校に行きたいと考える方がいるのは事実です。

新 居) 商業に比べて情報の方が人気があるのですね。
就職100%を続けると希望者数が多くなるのではないのでしょうか。

瀬 部) 推薦で大学に入学しても、学校に登校できなくて大学側が困っている事例
がたくさんあります。みなと高等学園では進学はできないのですか。

永 濱) 基本的には就労を目指す方向で取り組んでいますが、進学することもでき
ます。

名 山) 大学に進学して自力で就活をして就職することは厳しいとされますので、
やはり在学中に様々な支援を受けながら就労するのが基本であると考えま
す。

(2) 本校の教育活動に対する御意見, 御要望について

新 居) 部活動とかはあるのですか。

永 濱) 体育系では球技部, 剣道部, 卓球部, 陸上競技部があります。また文化系
ではアート部, 軽音部, 家庭科部などがあります。対外的な試合にも出場し
て熱心に活動しています。

柴 田) 本年度は高文祭のポスター部門で本校生徒が最優秀賞をいただきました。

瀬 部) ビルメンテナンスの実習で清掃していただいてとても助かっています。職
員で清掃作業もしているのですが、なかなか手が回らなくて困っています。
ぜひ今後ともご協力をお願いしたいです。

(3) その他

特になし。

以上